



新しい地図記号 「自然災害伝承碑」 ってなに？

9/26(木) 19:00 ~ 20:00

内外地図 6階 店舗内イベントスペース
東京都千代田区神田小川町三丁目 22 内外地図ビル 6階

★講師 遠藤宏之 さん

ライター(地図・測量・GIS・位置情報・防災など)・測量士。
地図会社で地形図や主題図など様々な地図の作成に携わったのち、地図の普及啓発や防災への地図利用などをテーマに執筆活動を開始。著書に「地名は災害を警告する」「三陸たびガイド」「みんなが知りたい地図の疑問 50」(共著)「首都大地震揺れやすさマップ」(地図解説)など。地理空間情報専門誌「GIS NEXT」副編集長。

9月から新しい地図記号が増えました。

地図記号が増えたのは2006年に「風車 」と「老人ホーム 」が登場して以来13年ぶりです。

新たにデビューした記号は「自然災害伝承碑」。

過去にその地域で起きた自然災害の教訓を伝えるために、先人たちが私たちに残してくれたメッセージです。

日本では毎年のようにさまざまな自然災害が発生します。

そしてその度に「想定外だ」「こんなことは初めてだ」

という声が聞かれますが、実は地域をよく観察すると、

案外身近なところに自然災害伝承碑が残されています。

今回は実際に地形図で「自然災害伝承碑」を探しながら、地域と災害について読み解いていきます。

★協力：地図文化研究会

★主催：内外地図株式会社

お申込

<https://peatix.com/event/1327004>

hanbai@naigai-map.co.jp

03-3291-0830(内外地図)

参加無料